

株式会社オンヴォーク

SDGsの取組

取組・活動内容	株式会社オンヴォークは、「ともに働き、ともに生きる」を経営理念とし、企業のDX化のためのIT業務を、社会的に不利な立場の方に優先的に依頼しています。また、働きたくてもPC等機器や技術がない障がい者や闘病中の方、ひとり親家庭や介護離職された方等を対象に機器の貸与やパソコン教育など自立に向けた取り組みも行っています。さらに、環境に配慮したペーパーレスツールの提案やICTを活用した誰もが暮らしやすい社会の普及活動を行い、「地球上の誰一人として取り残さない」目標に向かい活動しています。		
	目指すゴール	取組・活動内容とゴールとの関係	目標
	経済 1、8、12	受注した仕事の多くを、障害のある方や闘病中の方、ひとり親家庭や介護で離職された方などに依頼し、社会的に不利な立場にある方の経済的な支援を事業の大きな柱にしています。	2027年までに ・業務の80%を社会的に不利な立場にある方に依頼 ・直接雇用と福祉施設への委託を含め延べ1000人の仕事を創出
	社会 1、8、10、11、12	「ITの浸透が、人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させる」というDX（デジタルトランスフォーメーション）の概念を基にお客様のDX化支援をすることで障壁のない社会に向けた活動をしていきます。	【社会的に不利な立場にある方を対象に2025年までに】 ・PC機器等の貸与を年間50台 ・ビジネススキルやパソコン教育を年間200日（動画含む） 【企業団体を対象に本年度から】 アクセシビリティ提案及び普及事業を年3回
環境 12、13	自社はもちろん、企業・団体様のDX化やペーパーレス化支援の作業を通じて、環境に配慮した企業活動の普及に努めています。	・タブレット等ペーパーレス化ツールを活用し、年間25%の紙使用量削減（2022→2027） ・ペーパーレス化普及セミナーの開催を年4回	